

News Letter

2022年

4月

中国四国農政局
広島県拠点

つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～

県内4地区の棚田が選定されました！

棚田は、食料供給のみならず、国土・自然環境保全、水源かん養、美しい景観形成、伝統文化の伝承など多面的な機能を持った国民共有の財産ですが、地理的条件、人口減少、担い手不足による未来への継承の危機に直面しています。このような状況のもとで、農林水産省では、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解・協力を得るため、優良な棚田を認定する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」を実施し、全国271のうち、広島県では「比和 三河内の棚田」「寺領・月の子の棚田」「津浪の棚田」「井仁の棚田」が選定されました。

(画像：広島県の提供)

比和 三河内の棚田（庄原市）



ぼにばなの咲く郷・三河内

中山間地域等直接支払制度の活用や、ソバの作付け推進により、農地と景観の保全を図る。地域との交流学习で次世代へつなぐ。

寺領・月の子の棚田（安芸太田町）



祇園坊柿の里として地域活性化

棚田に水稻を耕作しているほか、祇園坊柿を植栽し、ブランド化に長年取り組む。6次産業産品を開発・販売し地域貢献もしている。

津浪の棚田（安芸太田町）



ぷらっとホームつなみを核とした地域活性化

棚田で生産した米や野菜、祇園坊柿等の地場産品を、旧JR駅跡地を整備したぷらっとホームつなみで販売し、都市との交流に取り組む。

井仁の棚田（安芸太田町）



国内外への知名度を生かした地域活性化

棚田の良質な水源と寒暖差を生かしたブランド米として棚田米を栽培し、高い人気を得た。かぼちゃをお酒の原材料としても提供する。

中国四国農政局ディスカバー農山漁村（むら）の宝

中国四国地域で応募のあった171件の中から、農山漁村の活性化・所得向上となる優良な事例を選定するとともに、今後の活躍が期待できる事例を奨励賞として選定しました。（画像：受賞者の提供）



中国四国農政局ディスカバー農山漁村の宝 ビジネス部門 万古溪養魚観光株式会社（廿日市市）

海と川を行き来し、鱒！！



海と川の養殖業者がタッグを組む

従来の溪流魚販売では冬季の売上が少なく雇用維持が困難だったため、同様に冬季に養殖可能な魚に限られ悩んでいた海面養殖業者や市場と連携し、海面と内水面を活用したニジマスの魚体大型化と早期出荷が可能な養殖方法で特許を取得し、若者の雇用も増加しました。

絶品！ 広島県ブランド魚認定「広島サーモン」

このような技術で育成されたニジマスは「広島サーモン」として県ブランド魚に認定され、瀬戸内レモンを使った独自の餌で育てられた広島サーモンは絶品です。当初は販路開拓に苦戦しましたが、現在は県内のホテルや飲食店、地元給食、球団、地域イベント等への食材提供や市内の大学とのレシピ考案、養殖場では釣堀施設と食事処を併設しており、食育や地産地消、雇用、地域活性化に貢献して高く評価されました。

伊藤代表や山里氏は「この技術は宝の原石であり、国内サーモンの安定供給に繋がれば」と抱負を語られていました。

吉田高等学校
アグリビジネス科



安芸高田市の道の駅でブドウの販売実習及びJA広島北部・安芸高田市主催「ブドウ現地研修会」の協力を行う。

奨励賞はこちら（4地区）

菜の花くらぶ



東広島市で、豊栄町地域おこし協力隊・大学生・町民が連携し「菜の花 Salad Salt」の製作・販売を行う。

農事組合法人 高幡



三次市で、アスパラと水稲を中心に土地利用型作物を組み合わせた農地を生かす複合経営を営む。

おおたけ手すき和紙保存会



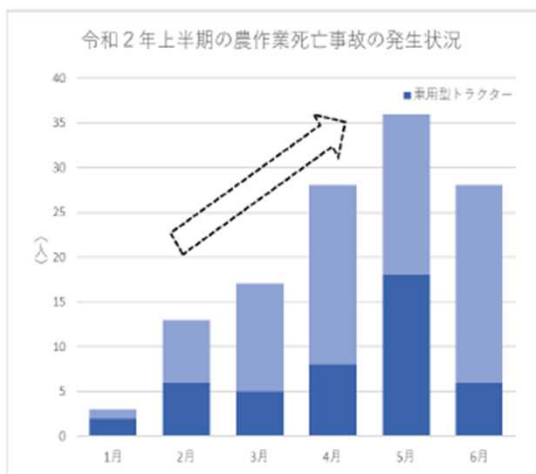
大竹市で、地元産の楮にこだわった和紙づくりを行う。

春の農作業安全確認運動 しめよう！シートベルト

農林水産省は、3～5月を重点期間として、全国の関係機関の協力の下、春の農作業安全確認運動を実施しています。

また、中国四国農政局では、農業は個人経営・家族経営が多いことから、地域全体や関係者が一体となって農作業安全の意識を高めることが重要であると、農作業「+（プラス）安全min」として、農作業安全に関する研修を農業者等が参加する会議、集会、講習会等に農作業安全の要素をプラスした形式で開催する取組を展開し、少しの間（minutes）でも時間を割いて農作業安全の話題に触れる活動をしています。

【中国四国地域の農作業死亡事故の発生状況】



道府県別農作業事故死亡者数（抜粋）

道府県名	(単位：人)					
	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	5年間の合計
鳥取	4	-	-	5	-	9
島根	-	-	5	-	-	5
岡山	9	17	7	8	6	47
広島	8	5	6	5	5	29
山口	8	6	-	6	7	27
徳島	-	4	-	5	4	13
香川	-	-	4	4	5	13
愛媛	-	5	5	10	5	25
高知	4	-	-	5	4	13
中国四国計	33	37	27	48	36	181
全国計	312	304	274	281	270	1441

資料：令和2年に発生した農業死亡事故の概要

注：1 東京都は本調査の対象外である。

2 事故者数が0～3人の道府県は「-」で示している。

3 本調査結果は、厚生労働省の人口動態調査・死亡個票等によるものであり、各道府県が独自に実施している事故調査の結果と異なる場合がある。

資料：令和2年に発生した農業死亡事故の概要

「農林水産省調べ（「人口動態調査」の調査票情報を用いた独自集計）」

○中国四国地域では、5年間で181件の農作業死亡事故が発生しており、平均すると10日間で1件の死亡事故が発生していることとなります

○3月以降は農作業死亡事故が急増する傾向にあります

安全キャブ・フレームとシートベルト、ヘルメットの着用で大幅に死亡事故を減らすことができます。

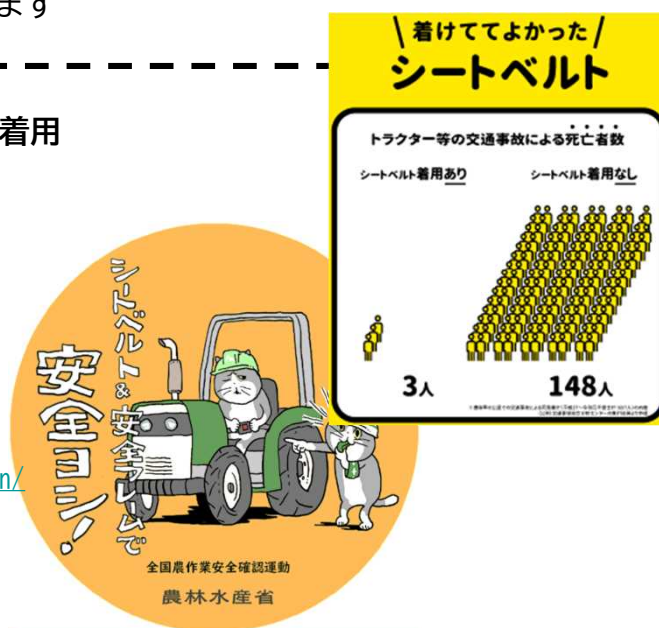
声かけ「しめよう！シートベルト」に協力お願いします

■農林水産省ホームページはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/

■中国四国農政局ホームページはこちら

<https://www.maff.go.jp/chushi/seisan/anzen/index.html>



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306) FAX(082)228-5817 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>